



学校だより

信頼を築く学校

茅野市立
東部中学校

令和3年度 No.10 文責 松島

発行日 9月8日

オンラインによる授業に向けて

これまでも学校だよりや通知、市からの案内でお知らせしてきましたが、現在オンラインによる授業の準備が急ピッチで進められています。まず、8月26日（木）には、タブレットの家庭への持ち帰りとWi-Fi接続・Teams接続練習を実施させていただきました。次に、9月3日（金）の朝の時間には、各クラスごとに学活と簡単な模擬授業を実施させていただきました。何れも、接続や設定に関わって保護者の皆様にもご協力いただき、スムーズに実施することができました。改めて感謝申し上げます。学校でも職員によるTeamsの研修を実施したり、通常の授業でICT機器の有効活用をしていくために、各教科や個人で活用の仕方を研究したりしています。

次の段階として、来週9月15日（水）には、1・2時間目にオンライン授業を実施したいと思います。詳細については、明日配布される「オンライン授業のお願い」と、本日配布される「ロイロノートを家庭のPC、タブレットなどで使う方法」をご覧ください、ご協力をお願いいたします。



【お知らせとお願い】

先日「第36回八ヶ嶺祭のご案内」と「令和3年度音楽会無観客実施のお知らせ」を各家庭に配布させていただきましたが、これについて補足説明をさせていただきます。

○「第36回八ヶ嶺祭」について

現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ると、八ヶ嶺祭当日の感染警戒レベルがどのようになるか分かりません。しかし「レベル5」であってもやり方を工夫して実施する方向で考えています。「レベル5」の場合は、ステージ発表をする生徒のみ体育館で発表を行い、他の生徒は各教室でライブ放送を見る形で参加をします。「レベル4」の場合は、茅野市の状況等も考慮して体育館に入っの参加にするか、ライブ放送での参加にするかを判断します。また、ステージ発表で予定されている「吹奏楽部」の発表は、発表者の間隔、ステージから参加生徒までの間隔を可能な限り広く取って実施する予定です。

○「令和3年度音楽会」について

ハヶ嶺祭同様、当日の感染警戒レベルによって対応が変わりますが、「レベル5」であってもやり方を工夫して実施する方向で考えています。「レベル5」の場合は、1～3年を縦割りの3～4クラスに分け、そのグループ単位で体育館に入り発表を行い、他のグループは各教室でライブ放送を見る形で参加をします。「レベル4」の場合は、茅野市の状況等も考慮して体育館に入っでの参加にするか、ライブ放送での参加にするかを判断します。また、発表をするクラスは十分な間隔を取り、マスク着用で発表をする予定です。

「第36回ハヶ嶺祭」・「令和3年度音楽会」共に、子どもたちの成長にとって意義のある行事と捉え、感染予防対策を十分に講じた上で、やり方を工夫して実施する方向で考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

◇新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に関わって

これまでも感染予防対策について「お知らせとお願い」をしてまいりましたが、以下の点について再度お願いをいたします。

1 感染予防対策

「3つの密の回避」「マスクの着用」「手洗い・手指消毒」の徹底。

2 毎日の「検温・健康観察」

レベル5への対応として、昇降口でチェックカードの確認を実施します。今後も、毎日「検温・健康観察」へのご協力をお願いいたします。

3 発熱等の風邪症状がある場合は、登校を控えるようお願いいたします。

これまで同様、以下の場合は登校を控えていただくようお願いいたします。

- ・児童生徒及び教職員に発熱等の風邪症状がある場合。
- ・児童生徒及び教職員本人に発熱等の風邪症状がなくても、家族に風邪症状がある場合。

また、気になる状況がありましたら、保健所への相談と共に学校へのご連絡をお願いいたします。

4 差別や偏見の防止

先日、校長講話で次のような内容の話をさせていただきました。「前略…万が一身近で感染者が出ても、まずその方の思いに寄り添い、力になっていけるよう、互いに支え合っていく気持ちを大切にしていきましょう。これまでも再三確認をしてきましたが、私たちが闘うべき相手は「ウイルス」です。今大切なのは「自分の身を守ることが、周りの人を守ることにつながる」ということです。これまでも大切にしてきた「マスクの着用」「3つの密を避ける」「手洗い・手指消毒」を徹底して実施していきましょう。また「身近な人でも、十分な感染対策をしていく必要がある」という意識で、自らの身を守ることを実施していきましょう。「私だけは大丈夫 この人だけは大丈夫 絶対大丈夫」はありません。自らの身を守る行動を取るとともに「思いやり」と「支え合い」の気持ちを大切にしていましょう。」